

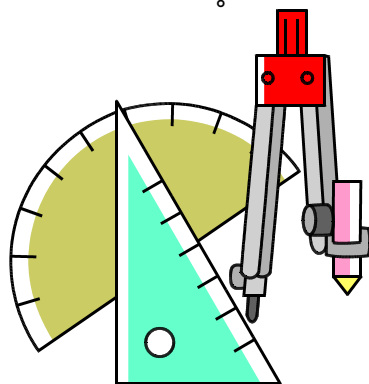
言語で情報を伝える

目的

言語で情報を的確に伝えるためにはどの点に注意すればいいかを学ぶ。
相手の気持ちに立って表現することを学ぶ。
効率の良い表現のしかたはどのようなものなのかを学ぶ。

方法

- (一)書き手は他の人に図を見せたり、悟られるような発言をせずに、文章を読んだ人が図を再現できるような文章を作る。(ノート見開きページの右側に記す。(20分))
- (二)時間が来たらノートを相手に渡す。(相手は教師が指示をする。)
- (三)読み手(図を描く人)はノート見開きページの左側上部に図を描く。(5分)
- (四)読み手は正解の図をページ左側下部に貼り、次のページに図を描いた感想(**わかりやすかった点・わかりにくかった点・こうした方が良かったというアドバイス**)を記す。(10分)
- (五)時間が来たら読み手は書き手にノートを返す。
- (六)本単元で気づいたことを「ふりかえり」に記入する。(10分)



ふりかえり

(一)書き手の「説明」を読んでいて、どんなことに困りましたか。よくわからなかったところはどこなところですか？

(三)相手にわかりやすくするために気を付ける点はどこなところだと思いましたか？

(二)【説明】を書いていて、伝わらないと思ったところはどこなところですか？

(四)この授業で気付いたことを書いてください。